

はじめに

このたびは、弊社の内蔵電源ユニット(PG-PU103)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
います。

本書は、ハードディスクキャビネット(PG-R1DC6、PG-DC106)への搭載方法や注意点を説明しています。

ご使用になる前に本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。また、ハードディスクキャビネット取扱説明書も合せてお読みください。

注意

内蔵電源ユニットをハードディスクキャビネットに搭載するときには、必ず弊社担当保守員にご連絡ください。

2001年7月

梱包物を確認してください

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。

万一足りないものがございましたら、おそれいりますが、担当営業員までお申し付けください。

- 内蔵電源ユニット
- 電源ケーブル(1本)
- 取扱説明書(本書)

弊社のドキュメントには「外国為替および外国貿易管理法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

△ 注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波ガイドライン適合品

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

安全上のご注意

本書では、いろいろな絵表示をしています。これは装置を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害のみが発生する可能性があることを示しています。

目次

第 1 章 概要.....	5
1.1 対応装置	5
1.2 仕様.....	5
第 2 章 各部の説明	5
第 3 章 内蔵電源ユニットの増設.....	6
第 4 章 内蔵電源ユニットの交換.....	7

概要

1.1 対応装置

この装置は次のハードディスクキャビネットに搭載可能なオプション電源です。

- PG-R1DC6
- PG-DC106

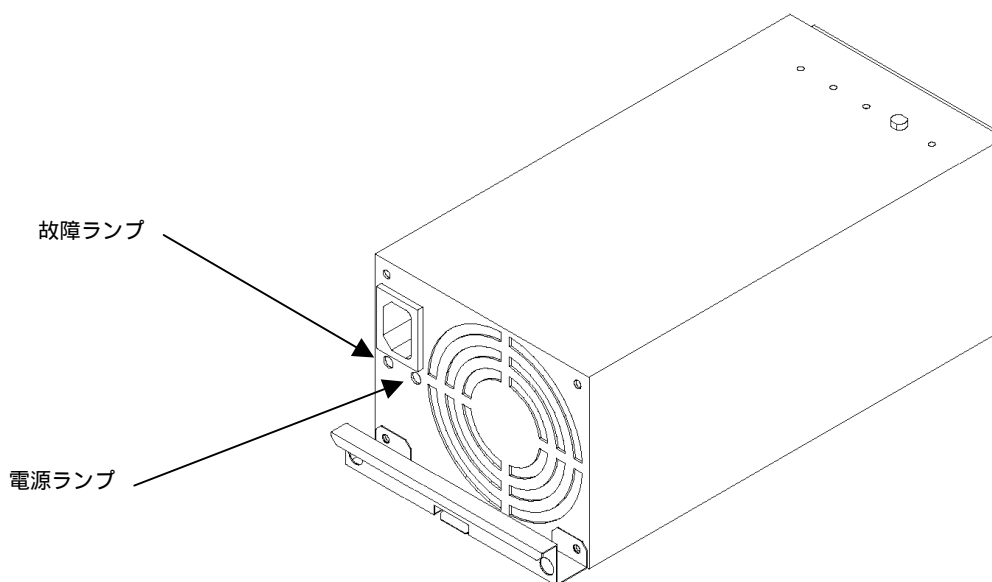
このオプション電源(内蔵電源ユニット)をハードディスクキャビネットに搭載することにより電源の冗長運転が可能です。

片方の電源が故障した場合でもハードディスクキャビネットを停めることなく業務を継続することが可能で、信頼性を向上させることができます。

1.2 仕様

項目	内容	備考
型格	PG-PU103	
電源容量	最大500W	
AC入力条件	AC 100~240V (50-60Hz)	
重量	2.8kg(ケーブルを除く)	
外形寸法	125 mm × 240 mm × 96 mm	W × D × H

第1章 各部の説明



- ・ 故障ランプ (黄)
- ・ 電源ランプ (緑)

上記ランプは内蔵電源ユニットの状態に合わせて、点灯/点滅します。

電源ランプ(緑)	故障ランプ(黄)	内蔵電源ユニットの状態
OFF	OFF	AC 供給なし
点滅	OFF	AC 供給あり; 待機状態
ON	OFF	正常動作中
OFF	ON	内蔵電源ユニットに AC 供給なし または内蔵電源ユニットの故障
On	点滅	過電流検出

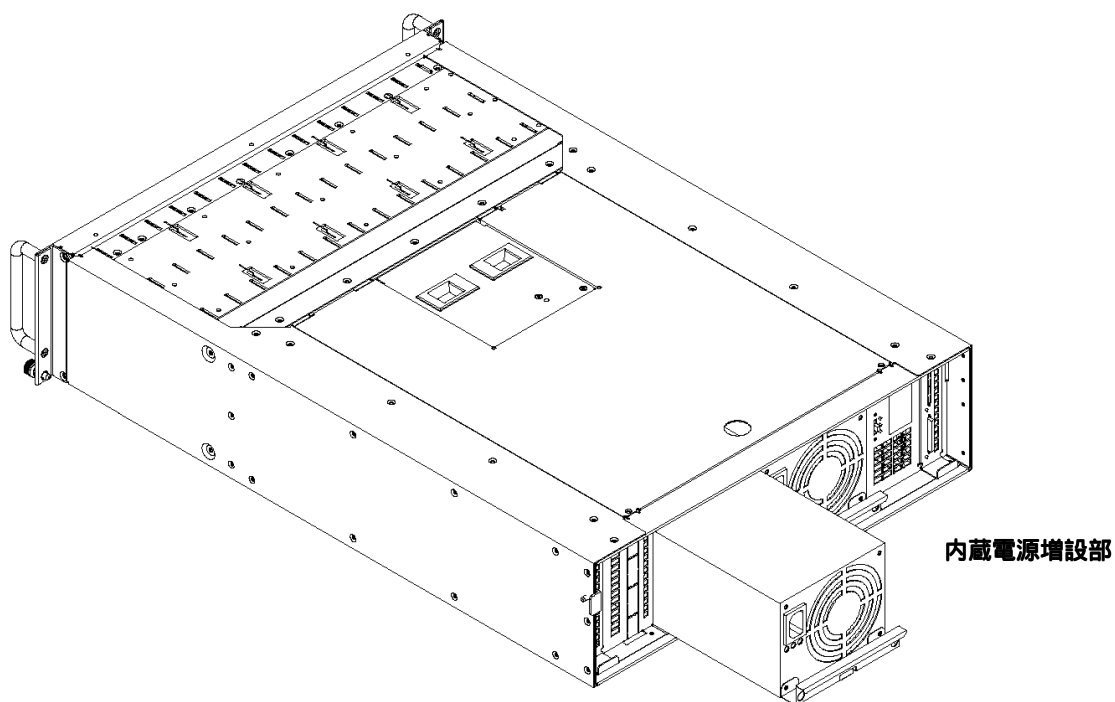
内蔵電源ユニットランプの状態表示一覧

第2章 内蔵電源ユニットの増設

ハードディスクキャビネットの電源を冗長構成にする場合、以下の手順に従いオプションの内蔵電源ユニットを増設してください。

⚠ 注意

- ・ ハードディスクキャビネットへの搭載は、必ず弊社担当保守員にご依頼ください。
- ・ 内蔵電源ユニットは精密部品です。取り扱いには十分注意してください。
- ・ 内蔵電源ユニットに対する設定は一切不要です。



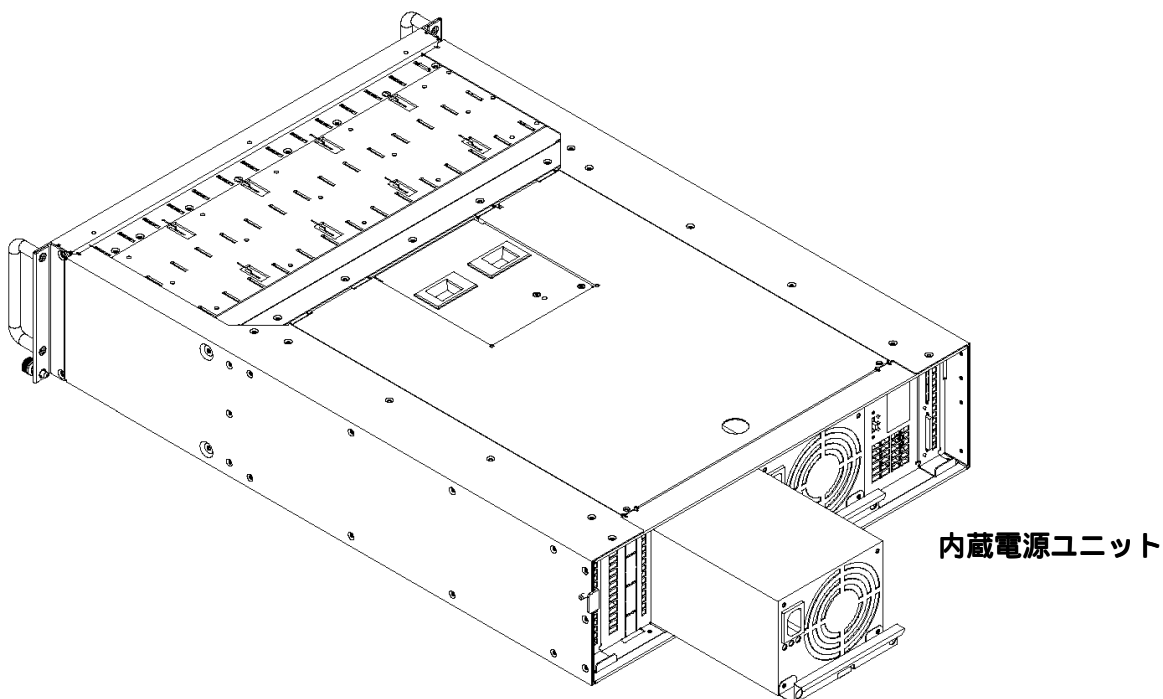
- ① ハードディスクキャビネット背面の内蔵電源ユニット増設部にある、ふさぎ板を外します。
- ② 内蔵電源ユニットをハードディスクキャビネット本体に挿入し、押し込みます。
- ③ 電源ケーブルをコンセントに接続します。
- ④ 交換した内蔵電源ユニットの緑色のランプが点灯することを確認します。

第3章 内蔵電源ユニットの交換

内蔵電源ユニットを 2 台搭載している場合は、ハードディスクキャビネット本体の電源を切断することなしに故障した内蔵電源ユニットを交換することができます。

⚠ 注意

- ・ 内蔵電源ユニットを交換する場合は、必ず弊社担当保守員にご依頼ください。
- ・ 本作業を実施される前に、念のためハードディスクキャビネットのデータをバックアップしてから、実施されることを強く推奨いたします。



- ① 故障した内蔵電源ユニットを確認します。
- ② 故障した内蔵電源ユニットの電源ケーブルをコンセントからはずします。
- ③ 内蔵電源ユニットを手前に静かに引き抜きます。
- ④ 交換用の内蔵電源ユニットをハードディスクキャビネットに挿入し、押し込みます。
- ⑤ 電源ケーブルをコンセントに接続します。
- ⑥ 交換した内蔵電源ユニットの緑色のランプが点灯することを確認します。